

地域を誇りに思う子を目指して

校長 中山 健一郎

本校がある揖斐郡揖斐川町清水は、北に長良山がそびえ、西から南へと揖斐川が流れる山紫水明の地であります。

「きよみず」の名にふさわしく、校区には清らかな小川がいくつも流れ、そこには魚をはじめ、多くの生き物が見られ、夏には蛍が舞います。

本校は、戦国時代の智将で、齋藤道三と織田信長に仕えた稲葉一鉄の居城清水城跡に建ち、明治6年の開校以来の歴史と伝統のある学校です。平成24年度には、開校140周年を迎えました。正門横には当時の石垣が残ります。また、校舎3階からは、とても見晴らしがよく、池田山の裾野を遠くまで見通すことができ、ここが城であったことを感じさせます。

全校児童74名、学級数7の小規模校ですが、児童たちは素直で明るく、学年を越えて仲良く活動ができます。子どもたちは、皆、名前で呼び合い、温かさを感じます。

保護者や地域の方々も教育活動にとっても協力的です。ふるさと学習を中心とした学習支援、毎日の登下校の安全確保など、子ども達は地域に支えられています。

清水小学校では、学校の教育目標「きよらかな心で よく考え みずから活動する子」の具現をめざしています。子どもたち一人一人が、確かな学力を身に付け、豊かな心を育むように全職員で努力します。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【本校の教育目標】

きよらかな心で よく考え みずから活動する子

支え合う子（共生力） よく考える子（創造力） やりぬく子（実践力）